

令和2年度の価格調査は、1年任期のため3月の調査で終了となりました。

今年度は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、委嘱式の中止や4・5月の食料品の価格調査も中止するなど、特別な1年でした。ここでは調査をして頂いた、10名の調査員の皆さんが、この1年間の調査の中で感じたことなどを掲載しています。皆さん大変お疲れ様でした。

当初は慣れない作業に戸惑ってしまったり、時間が掛かってしまったりしていましたが、最後の方は楽しみながら調査をすることが出来ました。1年の活動を通して、今まで知らなかった価格の動向を知ることができ、とても勉強になりました。季節によってこんなにも価格が変動していたと知ることができたので、今後の生活に活かしていけたらと思います。1年間ありがとうございました。

旬や時期での価格の変化を数字で知ることができ、とても勉強になりました。家計のやりくりにも引き続き役立てたいと思います。

価格が安定している加工食品や精肉と、価格が時期によって変動するが旬の食材(野菜・魚)をバランスよく組み合わせる食べようと思いました。価格調査を行ってみて食材の旬や産地を意識するようになりました。

なんとなくしか把握していなかった食品の価格変化を、数字で確認していったことで、今まで以上に旬を意識して買い物するようになりました。地産地消を、とは元々考えていましたが、魚介類など想像以上に輸入に頼っている現状を知ることが出来ました。旬も大事ですが、地元で獲れる食材を意識して使うことで、地産地消を継続していきたいです。

年間を通じて販売されている食材が、季節の変化にともない産地が変わっていること。価格の変化があることなど知ることが出来ました。買い物をするチェックポイントが変わったように思います。

予想通り生鮮品は季節による価格変動があり、旬の食材は賢く美味しく利用したいと、改めて感じました。生産者や小売業の方々、全ての資源にも感謝しながら消費生活を送りたいと思います。

毎月、値段を追って見ないと、産地によって値段が違う事など気付かなかった。自然災害により本州産が入ってこない時、全て道産品になった時は北海道の底力を見た。知らない世界を知れました。

担当していた店舗では、日用品にあまり力を入れていないのか規格品が無いことが多かったです。ドラッグストアや薬局で購入することが多いですね。短時間での仕事ですが、案外緊張しました。無事に1年間の調査が終わりホッとしています。

これまであまり意識していなかった季節による産地の変化や価格の変動を気にするようになり、その背景などをネットで調べたり、報道にも目が向くようになるなど勉強になりました。また、昨年のコロナ禍以降、マスクや消毒液の品不足やペーパー類の品薄報道で「お店に行けば商品がたくさん並び、好みの欲しいものがいっつも買える」事が、当たり前ではないことに気付かされ「購入＝消費できる」事のありがたさを感じる1年でした。

協力的な店舗の方々のお陰で、無事に1年間調査をすることが出来ました。感謝しています。食品、日用品が値上がりの春にならないことを願います。ご指導ありがとうございました。